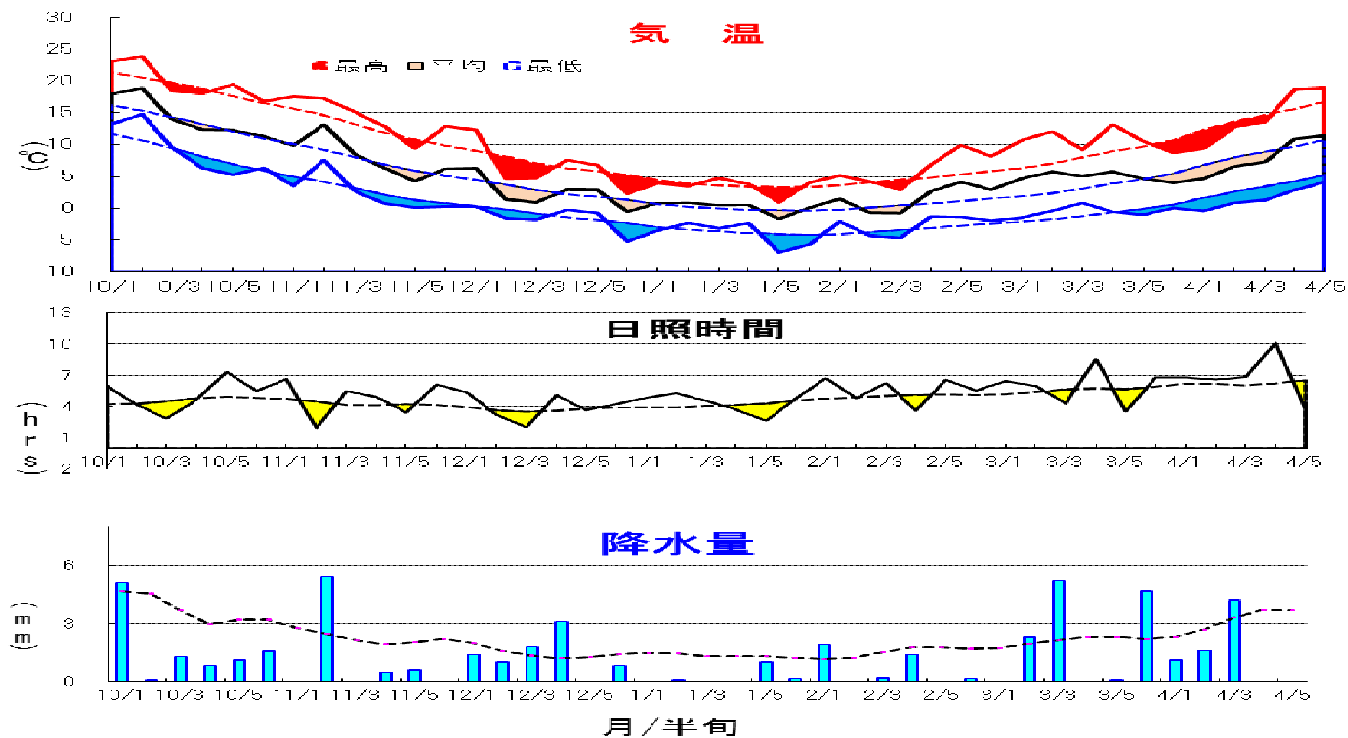
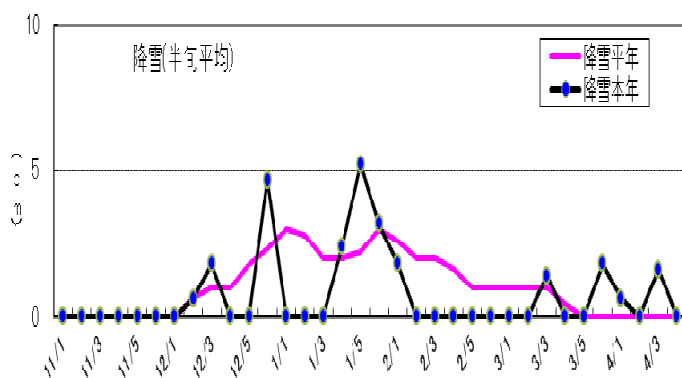


～麦類の生育は旺盛で今後の管理を万全に！！～

1 気象経過



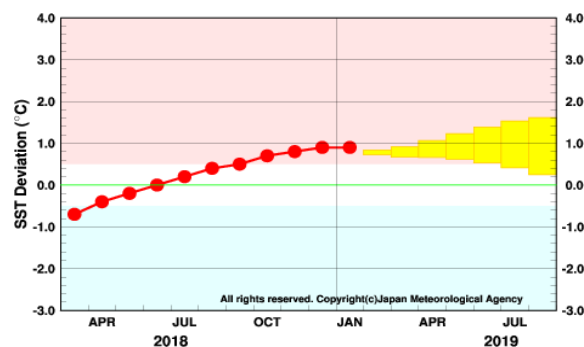
月	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
3月	4.9	10.7	-0.5	66.0	184.0
平年差	1.3	2.2	0.4	0.0	11.4
前年差	▲0.5	▲1.1	0.0	▲48.5	▲20.5
4月上旬	5.6	11.1	0.2	13.5	66.6
平年差	▲1.8	▲1.9	▲1.9	▲11.6	5.1
前年差	▲2.6	▲2.8	▲3.0	0.0	34.2
4月中旬	8.8	15.9	1.9	21.0	64.5
平年差	▲1	1	▲2	▲14	4
前年差	▲2	▲1	▲2	12	1



- ・3月の気温は下旬を除き月別では平年より高く、特に最高気温が高かった。
- ・3月の降水量は平年並みで前年よりは少雨傾向であった。
- ・3月の日照時間は、平年差11.4時間と多照であったが、前年よりは寡照であった。
- ・4月上旬～中旬の気温は、平年・前年より低く、降水量は少なかったが、やや多照であった。
- ・平均降雪量は、一時平年を上回ったものの少雪傾向であったが、4月に3日間ほど遅い降雪があった。

エルニーニョ現象

3月のエルニーニョ監視海域の海面水温は基準値より高い(+0.8°C) 夏にかけてエルニーニョ現象が続く可能性(80%)



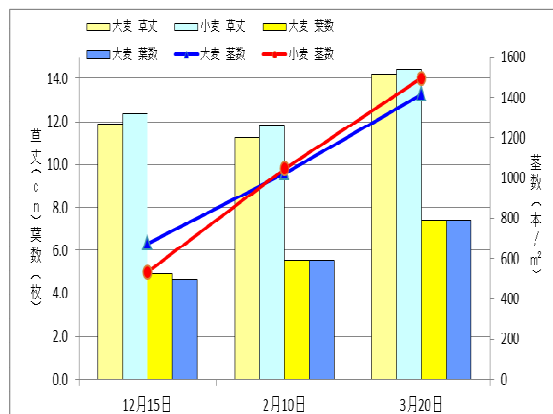
2 生育状況

(1) 3月20日現在と経過（古川農業試験場）

- ・前回調査と同様に、両種類とも草丈は高く、平年比135%～149%であった。
- ・同様に茎数も極めて多く、平年の2倍程と旺盛な生育となっている。
- ・葉数も多く、幼穂長の伸びも平年より長く、幼形期は早まった。



〔大麦・小麦の生育経過（各品種平均）〕



〔3月20日 大麦・小麦の生育〕

	品種・区分	草丈		茎数		葉数		幼穂長		幼形期
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年 (枚)	平年差 (%)	本年 (mm)	平年差 (mm)	本年 (月/日)
大麦	シュンライ 中甸	16.2	140	1450	192	7.7	0.8	3.3	0.8	12/28
	同 下甸	11.7	-	1366	-	6.5	-	2.1	-	3/1
	ミノリムギ 中甸	16.3	135	1555	192	8.4	1.3	3.0	1.0	2/4
	同 下甸	12.7	-	1296	-	7.0	-	2.2	-	3/5
小麦	シラネコムギ 中甸	19.7	149	1647	197	8.5	1.3	1.9	0.7	3/6
	同 下甸	14.0	-	1574	-	7.0	-	1.1	-	3/16
	夏黄金 中甸	14.5	-	1679	-	7.7	-	1.4	-	3/15
	同 下甸	9.5	-	1081	-	6.5	-	0.8	-	-

(2) 3月20日現在の各普及センター調査と4月の状況

- ・草丈は、播種期の遅い一部地域で低い圃場があるが、適期播種では概ね長かった。
- ・4月中旬の強風によって沿岸部等を中心に僅かな葉先枯れが散見された。
- ・4月10日前後の生育も依然旺盛で出穂期も並～早まると予想される。

〔3月20日 大麦・小麦の生育〕

	品種・区分	地域	草丈		茎数		幼穂長
			本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	平年比 (%)	本年 (mm)
大麦	シュンライ	大河原	10.1	93	745	104	1.2
		桃生	15.6	124	1,263	231	2.4
	ミノリムギ	大河原	15.1	141	1,147	208	2.2
		桃生	14.9	108	855	132	2.6
	ホワイトファイバー	大和	14.9	-	864	-	2.5
小麦	シラネコムギ	古川	11.2	86	994	91	1.1
		鹿島台	12.0	107	435	48	0.3
		小船越	14.0	119	713	64	0.7
	夏黄金	涌谷	13.0	-	1,716	-	1.1

〔4月 大麦・小麦の状況〕

	普及センター	調査日	品種	播種期	地域	草丈	茎数	幼穂長	減分期追肥	出穂期
						本年 (cm)	本年 (本/m ²)	本年 (mm)	本年 (mm)	本年 (mm)
大麦	仙台	4/10	シュンライ	11/8	仙台			20.2	4/16頃	4/25頃
		4/8		10/20	桃生	27.8	1,218	6.3	4/24頃	5/2頃
	石巻	4/8	ミノリムギ	10/19	高須賀	21.0	750	3.9	4/29頃	5/7頃
		4/10		11/2	大和			5.1	4/27頃	5/1頃
	仙台	4/10	ホワイトファイバー	10/25	仙台			22.5	4/15頃	4/23頃
小麦	大崎	4/10	シラネコムギ	10/19	古川	21.0	797	2.1	5/4頃	5/14頃
	石巻	4/8		10/26	桃生	17.7	946	1.5	5/5頃	5/14頃

3 今後の管理

(1) 適期追肥

- ・下表を参考にして、適切な追肥作業で高品質麦の生産に努める。

種別	生育状況	減数分裂期	穂揃期N成分量 (kg10a)
大麦	旺盛	2～2.5	-
小麦	旺盛	2.5～5	シラネコムギ 2.5 夏黄金 5

※幼形期：幼穂長2～3mm，減分期：止葉葉耳間長+0

(2) 赤かび病防除

- ・赤かび防除は1回目の防除が重要であり，2回防除を基本とする。
- ・1回目：開花始期～開花期，2回目：1回目の7～10日後
- ・降雨が続く場合や夏黄金は3回防除とする。

